

脈々 高蔵魂^{スピリッツ}

(創立者 市邨芳樹のことば)

「志高く、勇猛精進せよ」

身体は大きく姿かたちを変えないで成長するが、精神の発達^{さなざ}は蛹から蝶への変化にも似た飛躍を遂げる。つまり、内なる力が増し、満ち満ちて、精神は新たな精神へと脱皮を余儀なくされていく。

人は多かれ少なかれ暗示にかけられ、作られた殻の中を居場所としている。自分はいかしたものと思込まされている。

若者よ、奮い立て。自らの目で見、耳をそばだたせ、自らの足で歩み始め、内なる力を蓄えよ。一度っきりの人生だ。

吾人自ら吾人に超越す。 (「藪椿」1-9)